



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月8日

上場会社名 株式会社ハードオフコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 2674 URL <https://www.hardoff.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役社長室長兼経営管理本部長 (氏名) 長橋 健 TEL 0254-24-4344
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）※オンライン開催

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	11,741	22.1	455	31.7	523	37.1	400	84.5
2021年3月期第2四半期	9,612	△0.1	345	△6.5	381	△16.7	216	△25.6

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 419百万円 (△19.8%) 2021年3月期第2四半期 522百万円 (△20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	28.84	—
2021年3月期第2四半期	16.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	17,998	12,972	71.8
2021年3月期	18,105	13,039	71.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 12,927百万円 2021年3月期 12,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	12.8	1,200	50.8	1,300	46.6	700	101.1	50.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期2Q	13,954,000株	2021年3月期	13,954,000株
2022年3月期2Q	73,979株	2021年3月期	73,979株
2022年3月期2Q	13,880,021株	2021年3月期2Q	13,318,218株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響から持ち直しの傾向が見られるものの、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しております。このような状況下、当社では「リアルタイム実行～基本、楽しむ、そして笑顔に～」を年度テーマとして掲げ、人材育成の強化や買取チャネルの拡大に取り組んでおります。首都圏出張買取センターの開設や、未出店地域への期間限定出店買取といった取り組みを通じ、リユース事業の要である買取の力を強化すべく努めております。

当第2四半期連結累計期間のリユース店舗の出店につきましては、直営店9店舗を新規出店、2店舗を閉店し、FC加盟店2店舗を新規出店、3店舗を閉店いたしました。以上の結果、リユース店舗数は直営店は396店舗、FC加盟店は523店舗となり、合計919店舗となりました。

当第2四半期連結会計期間末時点における各業態別の店舗数は次表のとおりであります。

(単位：店)

店舗数	ハードオフ	オフハウス	モードオフ	ガレージ オフ	ホビーオフ	リカーオフ	ブックオフ	海外	リユース 合計	ブックオン
直営店	134 (+5)	124 (+4)	20 (△2)	11 (±0)	47 (±0)	4 (±0)	51 (±0)	5 (±0)	396 (+7)	3 (±0)
FC加盟店	233 (+1)	199 (△3)	3 (±0)	5 (±0)	75 (+1)	1 (±0)	—	7 (±0)	523 (△1)	—
合計	367 (+6)	323 (+1)	23 (△2)	16 (±0)	122 (+1)	5 (±0)	51 (±0)	12 (±0)	919 (+6)	3 (±0)

(注) 1. () 内は期中増減数を表しております。

2. 子会社の株式会社ハードオフファミリーおよび株式会社エコプラスが運営する店舗は直営店に含めております。

3. 子会社のECO TOWN HAWAII INC.、台湾海德沃福股份有限公司およびECO TOWN USA INC. が運営する店舗は海外直営店に含めております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、国内既存店売上高が2.0%増と好調に推移し、新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年3月期第2四半期と同水準を確保いたしました。前期の新店12店舗および前第3四半期より連結開始した子会社株式会社エコプラスの60店舗の寄与により、全社売上高は11,741百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

利益面におきましては、売上総利益率が0.5%ポイント低下し、8,036百万円（前年同期比21.3%増）となりました。販管費は前年同期比20.8%増となった結果、営業利益は455百万円（前年同期比31.7%増）、経常利益は523百万円（前年同期比37.1%増）となりました。

また、投資有価証券売却益105百万円を特別利益として計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は400百万円（前年同期比84.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が231百万円減少、商品が176百万円増加したことによるものであります。固定資産は9,007百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が126百万円増加、投資その他の資産が203百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は17,998百万円となり、前連結会計年度末に比べ107百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,894百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が83百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,131百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は5,025百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は12,972百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円減少いたしました。これは主に配当金の支払いなどにより利益剰余金が85百万円減少し、その他有価証券評価差額金が4百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.8% (前連結会計年度末は71.8%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月11日の「2021年3月期決算短信」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,197,245	1,966,111
売掛金	774,764	766,629
商品	5,618,336	5,794,977
仕掛品	459	737
その他	480,456	464,829
貸倒引当金	△2,312	△2,249
流動資産合計	9,068,949	8,991,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,005,505	2,110,389
土地	970,044	970,044
建設仮勘定	8,855	—
その他(純額)	343,970	374,772
有形固定資産合計	3,328,376	3,455,206
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	17,022	20,049
その他	521,330	564,825
無形固定資産合計	538,353	584,875
投資その他の資産		
投資有価証券	2,436,524	2,232,763
その他	2,744,294	2,744,269
貸倒引当金	△10,685	△10,075
投資その他の資産合計	5,170,133	4,966,957
固定資産合計	9,036,863	9,007,039
資産合計	18,105,812	17,998,075

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,981	21,603
短期借入金	1,980,000	2,030,000
未払法人税等	271,917	188,095
その他	1,679,109	1,654,302
流動負債合計	3,964,008	3,894,001
固定負債		
資産除去債務	433,437	477,396
その他	668,829	653,980
固定負債合計	1,102,267	1,131,377
負債合計	5,066,275	5,025,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,676,275	1,676,275
資本剰余金	1,895,362	1,895,362
利益剰余金	8,960,344	8,874,593
自己株式	△37,603	△37,603
株主資本合計	12,494,378	12,408,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	536,233	540,824
為替換算調整勘定	△34,487	△22,449
その他の包括利益累計額合計	501,745	518,375
非支配株主持分	43,412	45,692
純資産合計	13,039,536	12,972,696
負債純資産合計	18,105,812	17,998,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	9,612,759	11,741,942
売上原価	2,990,144	3,705,605
売上総利益	6,622,615	8,036,337
販売費及び一般管理費	6,276,641	7,580,635
営業利益	345,973	455,701
営業外収益		
受取利息	1,639	1,209
受取配当金	25,245	23,343
受取地代家賃	10,310	15,278
リサイクル収入	12,278	12,114
その他	13,350	21,974
営業外収益合計	62,824	73,920
営業外費用		
支払利息	5,745	5,787
持分法による投資損失	17,590	—
支払手数料	3,215	15
その他	570	474
営業外費用合計	27,122	6,277
経常利益	381,676	523,344
特別利益		
投資有価証券売却益	—	105,118
負ののれん発生益	13,382	—
特別利益合計	13,382	105,118
特別損失		
固定資産除却損	—	845
投資有価証券評価損	13,438	—
減損損失	6,662	29,102
特別損失合計	20,100	29,947
税金等調整前四半期純利益	374,958	598,515
法人税、住民税及び事業税	151,266	191,529
法人税等調整額	8,487	7,551
法人税等合計	159,753	199,081
四半期純利益	215,204	399,434
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,714	△844
親会社株主に帰属する四半期純利益	216,919	400,278

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	215,204	399,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	329,897	4,591
為替換算調整勘定	△22,349	15,163
その他の包括利益合計	307,548	19,754
四半期包括利益	522,752	419,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	525,713	416,908
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,961	2,280

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、顧客への販売におけるポイントの付与について、従来販売費および一般管理費として計上しておりましたが、売上の値引きとして収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期会計期間の期首より前までに従来取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当該会計方針の変更が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。